

オンデマンド 配信期間

2021年11月22日(月)～
12月22日(水)

※視聴方法は学会HPをご覧ください。

第75回

日本臨床眼科学会

ランチョンセミナー9 (LS-9)

緑内障治療における 主流出路の役割

日時

2021年10月28日(木)
12:40-13:40 **LIVE 配信**

会場

第11会場
(福岡国際会議場 502+503)

座長

谷戸 正樹 先生

島根大学医学部 眼科学講座 教授



新しい薬剤や技術は診断と治療に大きな変化をもたらします。近年広まりを見せたMIGS(低侵襲緑内障手術)は、緑内障手術にパラダイムシフトをもたらしたものと言えるのではないのでしょうか。時同じくして、ROCK阻害点眼剤グラナテックが世界に先駆けて我が国で初めて臨床応用され、既存治療への追加でさらなる眼圧下降を得られることが示されました。さらに、MIGSと同じ主流出路への薬剤によるアプローチという面でも研究が進められ、最近興味深い結果が蓄積されてきています。

本セミナーでは、ROCK阻害剤の役割を基礎と臨床の両面から、緑内障のエキスパートである先生お二人にご講演をいただきます。主流出路の役割の理解を通じて、緑内障治療の新しい可能性を考える機会になればと思います。

講演1

ROCK阻害剤の役割
～基礎編～

本庄 恵 先生

東京大学医学部
眼科学教室 准教授



講演2

ROCK阻害剤の役割
～臨床編～

石田 恭子 先生

東邦大学医療センター大橋病院
眼科 准教授

